

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.8.23	11:55	12:08	25.8	25.6	細砂	5Y3/2	ｱﾘ少々、貝片	0.7	>0.7

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.8.23	11:55	8.1	1.0	3.7	8.1	2610	17.49	1.5	8	5.2	0.0037	0.027	0.00097

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.8.23	12:08	7.9	218	20.8	1.2	1.2	2.714	0.2	2.3	72.0	22.9	0.7	1.9	0.32	4.8	2.8	21	N.D. (0.13)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H29.8.19	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.013	—	—	—	15	N.D. (2.3)	15	—		
				H29.8.23	藻類・植物	単子葉植物	ｲﾊﾞﾗモ	ｱマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	1.6	—	—	—	0.36	N.D. (0.059)	0.36	—		
				H29.8.22	藻類・植物	緑藻	ｱｵﾀ	ｱｵﾀ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	—	0.30	—	—	—	2.41	0.31	2.1	—		
				H29.8.19	節足動物	軟甲	ｱﾐ	ｱﾐ	<i>Mysidae</i>	アミ科	—	0.30	成体	—	—	—	2.11	0.41	1.7	—	
					節足動物	軟甲	ｴﾋﾞ	ﾓｸｽﾞｶﾞﾆ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	57	0.039	未成年/成体	—	—	—	2.4	N.D. (1.3)	2.4	—	
					節足動物	軟甲	ｴﾋﾞ	ｱｸﾘｶﾞﾆ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	1	0.15	成体	—	—	—	1.1	N.D. (0.73)	1.1	—	
				H29.8.22	軟体動物	二枚貝	ｶｷ	ｲﾀﾎﾞﾞｶﾞｷ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	12	0.17	成体	—	—	軟体部	1.7	N.D. (0.43)	1.7	—	
					軟体動物	二枚貝	ﾏﾙｽﾀﾞﾞﾚｶﾞｲ	ﾏﾙｽﾀﾞﾞﾚｶﾞｲ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	30	0.14	成体	—	—	軟体部	1.7	N.D. (0.65)	1.7	—	
				H29.8.19	脊椎動物	硬骨魚	ｶﾚｲ	ｶﾚｲ	<i>Platichthys stellatus</i>	ヌマガレイ	5	0.012	未成年	—	—	—	N.D.	N.D. (3.6)	N.D. (4.4)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾀｲ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	3	0.15	未成年	ｶ=類、ｴﾋﾞ類	—	内臓除去	1.7	N.D. (0.49)	1.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾊﾍﾞ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ	5	0.020	未成年	—	—	—	3.0	N.D. (2.5)	3.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾊﾍﾞ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ											
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾎﾞﾗ	ﾎﾞﾗ	<i>Chelon affinis</i>	セスジボラ	3	0.033	未成年	—	—	—	11	N.D. (1.5)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾎﾞﾗ	ﾎﾞﾗ	<i>Mugil cephalus</i>	ボラ	121	0.68	未成年	—	—	—	9.2	1.3	7.9	—
脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾎﾞﾗ		ﾎﾞﾗ	<i>Liza haematocheilus</i>	メナダ	11	0.050	未成年	—	—	—	7.0	N.D. (1.3)	7.0	—				
脊椎動物	硬骨魚	ﾆｼﾝ	ﾆｼﾝ	ﾆｼﾝ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	25	0.21	未成年	—	—	—	5.54	0.44	5.1	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をプラン等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。